

# 転移学習による自然言語処理の進展

柴田 知秀<sup>1</sup>

概要：2018 年秋に Google が BERT (Bidirectional Encoder Representations from Transformers) というモデルを発表し、自然言語処理業界のみならず、他の研究分野や一般のメディアからも注目を集めている。BERT は転移学習の枠組みに基づいており、大規模テキストでモデルを事前学習しておき、解きたいタスクでファインチューニングするというアプローチをとる。この枠組みによって、様々なタスクで飛躍的な精度向上を達成しただけでなく、深層学習登場以降の自然言語処理の考え方を一変させた。本講演では、まず、深層学習による自然言語処理のこれまでの流れを概観した後、BERT の仕組みについて説明する。そして、講演者がこれまで行ってきた日本語に関する取り組みとして、日本語モデルの事前学習と日本語タスクへの適用を紹介する。最後に、BERT の後継モデルや、画像や音声への展開について述べる。

---

<sup>1</sup> ヤフー株式会社